



2020 年 10 月

アウディ ジャパン株式会社
プレスサイト <http://www.audi-press.jp/>

オーナー問い合わせ 0120 - 598 - 106
アウディコミュニケーションセンター

広報資料

新型 Audi A4 シリーズ

- ベストセラーモデルを大幅にアップグレード

要約版

Audi A4 の概要 2

詳細版

- ▶ デザイン 5
- ▶ コネクティビティ 7
- ▶ 駆動システムとサスペンション 9
- ▶ Audi S4 / S4 Avant 12
- ▶ Audi A4 allroad quattro 14



要約版

Audi A4 の概要

Audi A4 は、アウディブランドの主力モデルです。ニューモデルの登場から 4 年が経過した今年、アウディは大きな成功を取めたこのミッドサイズモデルに、さらに緊張感のあるデザインを採用して、よりスポーティに進化させました。エクステリアは、アウディの新しいデザイン言語に従って大幅に刷新しています。その一方で、インテリアには大型の MMI タッチディスプレイが採用され、スマートフォンと同様の直感的な操作体験を提供します。S モデルを除き、すべてのモデルには 12V のマイルドハイブリッドシステム (MHEV) が搭載され、優れた効率と高い快適性が実現しています

スポーティなスタイル：エクステリアデザイン

新型 A4 シリーズは、今回よりスポーティなデザインが採用され、さらにダイナミックで洗練されたスタイルへと進化を遂げています。シングルフレームグリルは、よりワイドに、よりフラットになり、水平基調のラインが、フロントとリヤの幅広さを強調しています。サイドビューの特徴は、フェンダー上部の筋肉質な造形と、前後フェンダー間の低い位置に走る印象的なショルダーラインです。それらの要素が相まって、力強い造形がホイール上に生み出され、このクルマが quattro の遺伝子を受け継いでいることを暗示しています。

今回、LED ヘッドライトが標準装備されました。最上位モデルである S4 のヘッドライトには、フルオートマチックハイビーム機能を備えたマトリクス LED テクノロジーが採用されています。装備ラインのコンセプトも新しくなり、ベース、アドバンスト、S ラインの 3 種類を用意。A4 allroad quattro 及び S モデルは、独自のエクステリアを備えていることは言うまでもありません。

クリーンな印象を与えるインテリアでは、水平基調のラインが室内全体の雰囲気定義しています。インストルメントパネルの中央には、新しい操作システムの中心となる大型の MMI タッチディスプレイが装着されています。このディスプレイは、ドライバーに向かって少し角度が付けられています。マルチカラーアンビエントライティング (一部オプション) は、夜間におけるインテリアのハイライトです。

画期的な機能：コネクティビティ

新しい MMI システムにより、高度なコネクテッド機能を備えた Audi A4 は、スマートフォンと同様の直感的なユーザー体験を提供します。音響フィードバック付きの MMI タッチディスプレイは、先代モデルのセンターコンソールに設置されていたロータリー/プッシュボタンの機能を引き継いでいます。高解像度 TFT ディスプレイのサイズは 10.1 インチです。ディスプレイは、余分な装飾が排除されて非常にクリーンなグラフィックを提供します。フラットなメニュー構造は、ユーザーの好みに合わせてカスタマイズすることが可能です。MMI 検索機能はフリーテキスト入力に基づいており、素早く候補が表示されます。

Audi connect の「Audi connect セーフティ&サービス」機能は標準装備されています。無料の myAudi アプリは、ユーザーのスマートフォンとクルマをシームレスに接続します。新しい MMI では、メインユニットも刷新されています。第 3 世代のモジュラーインフォテインメントプラットフォーム (MIB 3) は、驚異的な演算能力を実現しています。MIB 3 は、コネクティビティに関



するすべてのタスク（電話機能や Audi connect サービスなど）を統合し、Wi-Fi ホットスポット機能を組み込んでいます。オプションには、ワイヤレスチャージングやフロントの Bang & Olufsen 3D アドバンスとサウンドシステムが含まれます。

インストルメントクラスターは、フルデジタルのオーディバーチャルコックピットプラスが装備されます（ベースモデルではオプション）。ドライバーは、マルチファンクションステアリングホイールを操作して、フル HD 解像度の 12.3 インチディスプレイ上に、3 種類あるビューモードのうち好みの 1 つを表示することができます。オプションのヘッドアップディスプレイは、走行に関する重要な情報を、ドライバーの直接の視野範囲に投影します。

また、Audi A4 には、数多くの先進のドライバーアシスタンスシステムが標準搭載されています。歩行者検知機能付オーディブレセスシティ、アダプティブクルーズコントロール、アクティブレーンアシスト、サイドアシスト、プレセンスリヤ、リヤビューカメラ、マルチコリジョンブレーキアシストなどがすべて標準装備されています。

広範囲な電動化：駆動システム

快適性を向上しながら燃費を改善する 12V のマイルドハイブリッドシステム（MHEV）が、A4 には標準で採用されています（S4 を除く）。この広範囲な電動化は、効率の向上と燃料消費量の削減によってお客様にメリットをもたらすと同時に、オーディフリートの CO₂ 排出量の目標達成にも貢献します。MHEV テクノロジーは、実際の走行条件下で 100km 走行あたり最大 0.3ℓ の燃料を節約することができます。

スポーティな調和：サスペンション

スポーティなバランスのとれたサスペンションは、Audi A4 のキャラクターと理想的に調和しています。A4 には、ダイナミクスを重視したスポーツサスペンションが標準設定されており、快適性を維持しながら、スポーティなキャラクターを強調します。S4 および S4 Avant には、ダンピングコントロール付きスポーツサスペンションが標準となり、ダイナミックステアリングがオプションで設定できます。オーディドライブセレクトにより、ドライバーは最大 5 つの走行プロフィールを選択することができます。

Audi S4 Sedan/Avant

パワフルなエンジンと quattro により、ダイナミックな走りを実現する Audi の S モデルは、先代と同様に最高出力が 260kW（354ps）、最大トルクが 500Nm（51.0kgm）を誇る 3ℓ V6 ターボエンジンを搭載。トランスミッションは 8 速ティプトロニックを採用し、quattro により 3.0 TFSI のパフォーマンスを余すところなく発揮。通常の Audi A4 よりも車高を低めた S スポーツシャーシやダンピングコントロール S スポーツサスペンション、オプションのリヤスポーツディファレンシャルなどにより、さらに俊敏なハンドリング性能を実現しています。エクステリアは、19 インチアルミホイールを標準装備、前後バンパーやエアインレット、サイドシルなどを専用デザインとすることで精悍さと上質さを向上。ブラックを基調としたインテリアは、カーボンアトラスデコラティブパネルや専用スポーツシートなどによりスポーティさを演出。パドルシフト付きマルチファンクション 3 スポークレザーステアリングには、ヒーター機能を追加しています。



完璧なオンロード&オフロード体験：Audi A4 allroad quattro

Audi A4 allroad quattro は、quattro 4 輪駆動及び 35mm 引き上げられた最低地上高とラフロードサスペンションの採用により、優れた乗り心地とオフロード性能を実現しています。このモデルは、アンダーボディプロテクション、ホイールアーチトリムといった専用装備、ワイドなトレッド（フロント、リヤともに 15mm 拡大）によって、Audi A4 Avant と区別することができます。

Audi A4 allroad quattro は、2.0TFSI ガソリンエンジンとオートマチックトランスミッションが搭載されます。ラゲージコンパートメント容量は、Audi A4 Avant と同じ 495ℓ です。リヤシートを折りたたみ、荷物をルーフまで積載した場合、この容量は 1,495ℓ に増加します。テールゲートとラゲージコンパートメントカバーは電動式です。オーディオドライブセレクトにはオフロードモードが追加され、A4 allroad quattro のドライバーは、合計 6 つの走行プロフィールの中から選択することが可能になります。



詳細版

Audi A4：ベストセラーモデルを大幅にアップグレード

デザイン

アウディのデザイン部門で責任者を務めるマーク リヒテは、次のように述べています。「私たちは、最新の A4 シリーズに、2 年前にフラッグシップモデルの A8 で提示した新しいデザイン言語を取り入れることによって、力強い存在感を生み出すことに成功しました。スポーティなアップグレードが施された A4 は、まったく白紙の状態からダイナミズムと洗練性が高められました」

このミッドサイズモデルは、すべてのボディバリエーションで寸法が少し拡大されました。Audi A4 は、Sedan と Avant の両バリエーションで、全長が 10mm 拡大して 4,760 mm となりました。全幅は 5mm 拡大して 1,845mm となっています。ホイールベースは先代モデルと同じ 2,825mm で、車高も同じです（Sedan が Avant とともに 1,410mm）。

よりスポーティで緊張感のあるスタイル：エクステリアデザイン

新型 Audi A4 は、ほとんど全てのボディパネルが新しくなりました。フロントは、よりスポーティで幅広い印象を与えます。これは主にデザインが見直され、よりフラットでワイドになったシングルフレームグリルによるものです。このグリルには、彫刻的な造形のクロスバーが設置されています。ヘッドライトでは、先代モデルにあった下端のエッジ部分がなくなりました。その下には、内側に向かってシャープな角度を描く五角形の大型エアインテークが配置されています。上部に印象的な造形が施された結果、左右のエアインテークは、フロントグリルにおいて大きな存在感を放っています。

サイドビューは、アウディの上位モデルのデザインを継承しています。ヘッドライトのコーナーから始まるショルダーラインは、ボンネットのエッジ部分と並行してリヤへと伸び、ドアミラーの部分で一旦フェードアウトしています。その後、リヤドアハンドルの位置から再び始まり、リヤライトへと伸びています。ホイール上に設置されたショルダーラインは、アウディの quattro テクノロジーを暗示するアクセントとなっています。ショルダーライン下のアンダーカットは、ボディパネルに光と影の美しい相互作用を生み出しています。

ショルダーラインよりも低い位置に設置された 2 番目のラインは、彫刻的な造形のドアパネルを横切って走り、視覚的な重心を下げる効果を果たしています。サイドシルのエッジは、前方に向かって細くなる、ダイナミックなブレード形状となっています。低いルーフラインは、ルーフの中央部分からリヤへ向かって傾斜を始めます。Avant モデルにはルーフレールが標準装備され、ルーフラインは、フラットな D ピラーへと流れるようなラインを描きます。ルーフエッジスポイラーの側面には、三角形のエアロベゼルが設置されています。Sedan モデルでは、拡大されたリヤサイドウィンドーにより、キャビンがより長く見える効果がもたらされ、ピラーはより細くなっています。ドアミラーは、スポーツカーのようにドアレールに装着されています。

リヤにも非常に立体的なデザインが採用され、左右のリヤライトはクロームストリップによって繋がっています。これによって、A4 の幅広さが強調されています。ディフューザーインサートの



左右には、台形エキゾーストテールパイプが一体化されています。

Audi A4 と Audi A4 Avant は、優れた Cd 値（空気抵抗係数）を特徴としています。その値は、A4 が 0.25 で、A4 Avant が 0.27 です。空力コンセプトの面においては、広範囲にパネルで覆われたアンダーボディ、エアロダイナミクスを考慮してデザインされたフロント&リヤエンドが重要な役割を果たしています。フロントバンパーの左右に配された五角形のエアインテークは、取り込んだ空気をホイールアーチへと導き、効率的に通過させます。

Audi A4 Avant のテールゲートはアルミニウム製です。体系的に軽量化されたボディにより、Audi A4 は、競合モデルの中でもっとも軽量のクルマに仕上がっています。卓越した振じり剛性を実現したボディは、非常に精密なドライビングレスポンスと静かで快適なキャビンの基盤となっています。

3つのグレードと10のボディカラー

装備ラインのコンセプトも新しくなり、ベース、アドバンスト、S ラインが用意されています。ベースでは、シングルフレームグリルはマットブラックに塗装されています。アドバンストでは、シングルフレーム、エアインレット、ディフューザーには、アルミニウムシルバーとダーククロームの段階的なトーンが採用され、エレガントで先進的なエクステリアのアクセントとなっています。ホイールは、ベース、アドバンストともに 17 インチホイールが標準となります。先進的なエクステリアをさらに印象的に仕上げたい場合は、ブラックスタイリングパッケージもオプションで用意されています。

スポーティなSラインでは、フロントのエアインレットが上下にさらに大型化されて力強い造形となり、内部にハニカムグリルが採用される一方で、アウターエリアがシルバーのトリムで囲まれて分割される構造となります。シングルフレームには光沢ダーククロームのハニカムグリルが装着されます。ボンネットの先端部には、初代 Audi quattro を連想させる、フラットなスリットが設置されます。さらに、フェンダーにはSラインバッジが装着されます。リヤのディフューザーは拡大され、ハニカムグリルインサートが装着されます。ディフューザーのカラーはつや消しダーククロームで、ディフューザー本体とテールパイプトリムには、シルバーのトリムサラウンドが設置されています。足元は、18 インチホイールとなり、ダンピングコントロール付きスポーツサスペンション(オプション)の組み合わせにより、スタイルとハンドリングがさらにシャープになっています。

アウディならではのデザイン：ライティング

新型 Audi A4 のヘッドライトには、LED テクノロジーがヘッドライトとリアコンビネーションライトに標準で採用されており、これにはデイトムランニングライトおよびダイナミックターンインディケータも含まれます。ヘッドライトの上部のデイトムランニングライトは、1本の長いライトストリップと5本の短いライトストリップが設置され、その輪郭を形成しています。

オプションのマトリクス LED ヘッドライト (S4/S4Avant には標準装備) のフルオートマチックハイビームは、左右それぞれ 11 個の LED で構成されています。ヘッドライトレンズの奥に設置されたこれらの LED は、隣のロービームモジュールと同様「目」を連想させる外観を特徴としています。コントロールユニットは、必要に応じてこれらの LED をオンまたはオフに切り替え照度を変えるなどして、前走車や対向車のドライバーを幻惑することなく路面を明るく照らします。



Audi A4 のリヤライトには、デイトタイムランニングライトをモチーフにしたライトシグネチャーが採用され、ダイナミックターンインディケーターも装備されます。

軽量、テクニカル、エレガント：インテリアデザイン

Audi A4 モデルのインテリアは、広々としたスペース、軽快なデザイン、ハイテク機能の特徴としています。幅広い左右対称のセンターコンソールを見ると、以前に MMI コントロールターミナルと右側のポリウム用ロータリースイッチがあった場所には、新たに収納スペースが設置されています。インストルメントパネル上端とドアトリムには、乗員に閉塞感を与えることなく、フロントシートを取り囲むような「ラップアラウンド」と呼ばれるデザインエレメントが採用されています。

インテリアには水平基調のデザインが適用され、幅広いエアベントとインストルメントパネルの大型装飾パネルを特徴としています。その中心部には、新しい操作システムの中心的な役割を果たす、MMI タッチディスプレイが標準装備されています。非常にスリムなディスプレイの奥行きは、わずか 13mm です。

Audi A4 のフロントシートは、人間工学に基づいた形状を採用しています。標準シートに加えて、一体型ヘッドレスト、「S」エンボス加工、ランバス（ひし形）パターンを備えた、スポーツシート及び S スポーツシートが用意されています。ベースモデル以外はシートヒーター（フロント）を標準装備し、電動調整機能により快適性も向上しています。また、ステアリングホイールには 3 本スポークデザインが採用され、マルチファンクションボタンとシフトパドルが装備されています（除くベース）。

Audi A4 Sedan のトランク容量は 460ℓ です。Audi A4 Avant のラゲージコンパートメント容量は 495ℓ ですが、リヤシートを折りたたむと 1,495ℓ まで拡大することができます。Audi A4 Avant の積載高は 63cm と非常に低い位置に設定され、積載時にボディが傷つかないように、ステンレススチール製の保護カバーが装着されています。また、標準でオートマチックテールゲートを装備しています。

Audi A4 Avant では、パーティションネットとルーフレールが標準装備され、レール上を D ピラーまで伸びるラゲージコンパートメントカバーが装備されます。分割式ラゲージコンパートメント用の折りたたみマット、ネットとストラップから構成される収納及びラゲージコンパートメントパッケージも標準で装備されています。

コネクティビティ

Audi A4 は、高度なコネクテッド機能を搭載し、より多くのコミュニケーション、さらに優れた安全性と快適性を実現しています。スマートフォンのように直感的な操作が可能なフルデジタルの MMI オペレーティングシステムは、コックピットの体系的なデジタル化をさらに一歩前進させています。Audi A4 は、最先端のコネクテッド機能とドライバーアシスタンスシステムを提供します。

タッチパネルとボイスコントロール：新しい操作コンセプト

2 年前、アウディはフラッグシップモデルの A8 とともに、新しいフルデジタルによる操作コンセ



プトを発表しました。このコンセプトは、Audi A4 にも導入されています。MMI タッチテクノロジーは、デジタルの時代になっても、アウディの高い品質基準が保たれていることを証明しています。従来はセンターコンソールに設置されていたロータリー/プッシュボタンは、インストルメントパネル中央に装着され、ドライバーに向かって少し角度がつけられた大型 TFT ディスプレイへと置き換えられています。このディスプレイは、インフォテインメント及び一部の快適機能の操作に加え、手書き文字認識機能や仮想キーボードによるテキスト入力などに使用します。

MMI タッチディスプレイのサイズは 10.1 インチで、解像度は 1,540×720 ピクセルです。その優れたコンセプトにより、簡単かつ直感的に操作することが可能です。多くの機能やシンボルはロングタッチ機能によって設定することができますが、スワイプ、スクロール、マルチフィンガージェスチャーもサポートしています。完全な単語はもちろんのこと、テキスト入力では、それぞれの上に書かれた文字も認識できます。

MMI タッチディスプレイのグラフィックは、複雑さを排除して、意図的にクリーンなデザインを採用することにより、情報を素早く理解することができます。メニュー構造はスリムでインテリジェントです。MMI 検索機能はフリーテキスト入力に基づいており、素早く候補が表示されます。例えばレストランを検索する場合、最初の数文字を入力しただけで候補が表示されます。

インストルメントクラスターは、フルデジタルのアウディバーチャルコックピットプラスが標準設定されています（ベースモデルはオプション）。アウディバーチャルコックピットプラスは、大型タッチスクリーンと同じグラフィックインターフェイスを備え、スクリーンのサイズは 12.3 インチ、解像度は 1,920×720 ピクセルです。ドライバーは、クラシックビュー、スポーツモード、ダイナミックモードの 3 つの画面を切り替えることができます。

重要な情報をフロントウィンドーに投影するヘッドアップディスプレイもオプションで用意されています。その画像は、ドライバーの直接の視野内に投影され、車両前方の 2.1 メートル先に浮かんでいるように見えます。ドライバーは、走行中にメーターを見るために視線を移動する必要がなくなります。今回、ナビゲーションには詳細な交差点マップが新たに追加されました。

インフォテインメントと Audi connect

Audi connect の「Audi connect セーフティ&サービス」機能は標準装備されています。この機能は、複数のサービスが統合されたパッケージとして提供されます。エマージェンシーコール、オンラインロードサイドアシスタンス、アウディサービスリクエストといった機能が含まれています。さらに、便利なリモートサービスも含まれています。これらのサービスにより、スマートフォンを使用して、myAudi アプリ経由で特定の機能をコントロールすることが可能になります。

例えば、myAudi ナビゲーション機能を使用すると、スマートフォンと車両間で、シームレスにルートガイダンスを切り替えることができます。また、このアプリは音楽データのストリーミング再生やショートメールなどをサポートします。標準装備の Audi スマートフォンインターフェイスは、Android Auto や Apple Car Play といったお馴染みのスマートフォン環境を車内に再現します。その他のオプションとして、スマートフォンワイヤレス充電とリヤシートに 2 つの USB C ポートを用意しています。



Audi A4 では、フロントに Bang & Olufsen 3D アドバンストサウンドシステムを搭載したオーディオを選択できます。これは 19 個のスピーカーを使用し、そのうちの 2 個は A ピラーとフロントドアに設置され、臨場感溢れる立体的なサウンドを再現します。16 チャンネルアンプの出力は 705 ワットです。

安全性と快適性：ドライバーアシスタンスシステム

安全性、快適性、そして信頼性。Audi A4 及び Audi A4 Avant には、数多くのドライバーアシスタンスシステムが搭載されています。アウディプレセンスシティやマルチコリジョンブレーキアシストをはじめ、歩行者検知機能付アウディプレセンスシティや、渋滞追従支援機能付アダプティブクルーズコントロールなど、ドライバーの安全性、快適性をサポートする先進のアシスタンスシステムを標準装備。アウディプレセンスシティは、約 10 ～ 85km/h 以下で走行中に先行車や歩行者に先行車に衝突する恐れがある場合には衝突被害軽減ブレーキが作動。40km/h 未満で走行中の場合は、フルブレーキにより衝突の回避、または衝撃の軽減を行います。エグジットワーニングは、クルマから降りるためにドアを開けようとしているときに、後方からクルマや自転車などが近づくと警告を発して事故を未然に防ぎます。また、右折時に直進車との衝突を防ぐターンアシストや、前車との距離を示すディスタンスインディケーター、駐車時に自動的にハンドル操作を行うパークアシストなどにより安全性や快適性の向上を図ります。

駆動システムとサスペンション

Audi A4 及び Audi A4 Avant は、出力の異なる 2 種類の 2 ℓ 直列 4 気筒直噴ターボエンジンを搭載しています。この 2.0 TFSI エンジンそれぞれ Audi A4 35 TFSI では 110kW(150ps)、Audi A4 45 TFSI quattro/A4 allroad quattro では 183kW(249ps) の最高出力を発揮します。そのどちらにも、ベルト駆動式オルタネータースターター(BAS) と 12V リチウムイオンバッテリーを用いたマイルドハイブリッドドライブシステムを採用しました。これにより、エネルギー回生機能を高めたり、コースティング（惰力走行）時にエンジンを完全停止するなどして、さらに効率的で快適なドライビングを可能としています。

2.0 TFSI ガソリンエンジンには、数多くの先進技術が投入されています。110kW (150hp) の出力バージョンには、インテークマニホールド噴射が追加され、部分負荷領域でFSI直噴システムをサポートして、粒子状物質の排出量を削減します。アウディバルブリフトシステム (AVS) は、充填効率を最適化するために、排気バルブのリフトを 2 段階で調整します。熱管理システム用のコンパクトなロータリーバルブモジュールと、シリンダーヘッドに組み込まれたエキゾーストマニホールドも、優れた効率に貢献しています。

このエンジンは、効率をさらに追求するために、短縮された圧縮工程と長い膨張行程を組み合わせた「B サイクル」と呼ばれる燃焼プロセスを採用し、走行中もっとも頻繁に使われる中間負荷領域において、優れた効率を実現しています。それにより、通常走行時は小排気量エンジンの高い効率もたらされる一方で、スポーティな走行時には大排気量エンジンのダイナミックなパフォーマンスを体験することができます。

また、ディーゼルエンジン搭載モデルも、2021 年初頭の導入を計画しています。



広範囲な電動化：MHEV システム

アウディの計測データによると、MHEV テクノロジーは、実際の走行条件下で 100km 走行あたり最大 0.3ℓ の燃料を削減することが判明しています。このシステムの中心となるコンポーネントは、クランクシャフトに接続されたベルト駆動式オルタネータースターター（BAS）です。ドライバーがアクセルペダルから足をはなすか車両が減速した場合、BAS は最大 5kW の電力を回生し、車両後部に搭載された容量 10Ah のセパレートタイプのリチウムイオンバッテリーに電力を供給します。

車速が 55～160km/h の間でドライバーがアクセルペダルから足をはなすと、Audi A4 はエンジンを停止した状態でコースティング（惰性走行）することが可能です。スタート/ストップ機能が作動する範囲は、大幅に拡大されました。ドライバーがアクセルペダルを再び踏むと、BAS がスムーズかつ瞬時にエンジンを再始動します。停止状態で、前方車両が走り出したことをフロントカメラが検知すると、ブレーキペダルを踏んでいてもエンジンが始動します。

トランスミッション

すべての A4 と A4 Allroad には、7 速 S トロニックが、S4 および S4 Avant には、8 速ティプトロニックが搭載されます。低速側のギヤは、低めのギヤ比によるスポーティな設定となっている一方、高速側のギヤには高めのギヤ比を採用して、巡行時のエンジン回転数及び燃料消費量を抑制しています。S トロニックは、エンジンの熱管理システムに統合されています。ドライバーは、D、S、E の走行モードを選択することが可能で、セレクターレバーまたはステアリングホイールに設置されたシフトパドルを使って、マニュアル操作を行うこともできます。トランスミッションへの指令は、ワイヤーによって電気的に行われます。

7 速 S トロニックは、高い効率を特徴としています。2 つのマルチプレートクラッチは、軸方向に前後に配置されているため、引きずりトルクが低減されます。デュアルマスフライホイールに遠心振り子ダンパーを装着したことにより、非常に低いエンジン回転数からの発進が可能になっています。デュアルクラッチトランスミッションは、効率を重視して設計され、MHEV システムと組み合わせることによって機能がさらに強化され、コースティングやフリーホイール機能が実現し、スタート/ストップ機能の作動範囲も拡大しています。

Audi A4 45 TFSI には、センタークラッチ備えた quattro ドライブが標準装備されます。通常走行時、システムは効率的な前輪駆動で作動します。4 輪駆動が必要な場合、クラッチが即座に介入します。特定のケースでは、この作動は予測的に行われます。この最新の quattro ドライブは、トラクション及びドライビングダイナミクスの面において、従来のフルタイムシステムと同等の走行性能を実現しながらも、効率が最適化されています。

quattro システムは、エレクトロニックスタビリゼーションコントロール（ESC）のソフトウェア機能のひとつである、ホイールセレクトティブトルクコントロールと緊密に連携して作動します。高速コーナリング時には、内輪をわずかに制動することによってアンダーステアを抑制し、安定したハンドリングをサポートします。このシステムは前輪駆動車にも採用されていますが、この場合、ブレーキの介入は前輪のみに行われます。

調和のとれたバランス：サスペンション

Audi A4 の大きな特徴は、スポーティな走りや快適性の絶妙なバランスを実現したサスペンションです。すべてのエンジンバリエーションは、優れた走行性能と組み合わせられダイナミックなハン



ドリングはもちろんのこと、上級クラスに迫る快適な乗り心地も実現しています。Audi A4 のフロント及びリヤアクスルには 5 リンク式サスペンションが採用されており、前後方向の力と左右方向の力を個別に処理することができます。リンケージとサブフレームは、その大半がアルミニウム製です。Sedan と Avant のトレッドは、フロントが 1,565mm、リヤが 1,550mm です。

Audi A4 は、スポーツサスペンションを標準装備しています。A4 45 TFSI では、オプションでダンピングコントロール付きスポーツサスペンションが選択可能で、その作動はエネルギー効率に優れた方法で行われます。大きな電力を必要とするのは、バルブを閉じてダンパーを硬く設定した場合のみです。

このダンピングコントロール付きスポーツサスペンションの減衰力制御は、エレクトロニックシャーシプラットフォームを介して行われます。セントラルシャーシコントロールユニットとして設計された CDC は、車両の設定に関する数多くの情報を記録しています。運転状況に関するこの情報を使用してダンパーを精密に制御し、ダイナミックなハンドリングと優れた乗り心地における幅広い設定を実現しています。

これは、アウディドライブセレクト ダイナミックハンドリングシステムに統合されています。ドライバーは MMI システムを介して、これらのモジュールが動作するモード（コンフォート、オート、ダイナミック、エフィシェンシー、インディビジュアル）を選択することができます。エフィシェンシーモードは、最大トルクが 300Nm を超えるエンジンでのみ利用できます。

Audi A4 と Audi A4 Avant には、17 インチのアロイホイールが標準装備されます。S ラインを選択すると、18 インチホイールが標準となります。さらに、アウディ及び Audi Sport から提供される、最大 19 インチのホイールを選択することもできます。S4 および S4 Avant には、19 インチホイールが標準となります。

ブレーキは、A4 35 TFSI には、前輪に 16 インチのフローティングキャリパーを備えたブレーキが標準装備されます。上位モデルには、きわめて軽量の 17 インチのアルミニウム製固定キャリパーが採用され、最大 338mm 径のベンチレーテッドディスクが装備されます。オプションで、レッドのブレーキキャリパーを選択することも可能です。



Audi S4 / S4 Avant

デザイン：スポーティな印象

Audi S4 Sedan と Audi S4 Avant は、最新のオーディデザイン言語に従ってエクステリアデザインが一新され、スポーティなアクセントが付けられています。ボンネット先端部に設置された細いスリットは、オーディブランドのアイコンモデル、初代 Audi quattro を連想させます。ハニカムグリルを備えた大型エアインレットには、シルバーのフレームが装着されています。S モデルには、マトリクス LED ヘッドライトが標準装備されています。サイドビューを見ると、シルバーのドアミラーハウジングと、立体的な造形のシルトリム（同じくシルバー）が印象的です。S4 Avant のルーフには、アルミ調のルーフレールが装着され、ロングスポイラーがアクセントとなっています。Sedan モデルでは、リヤスポイラーはトランクリッドに組み込まれています。

リヤには、ダイナミックターンインディケーター付きの LED ライトが標準装備されています。シルバートリム付きのつや消しダーククロームの大型ディフューザーには、ハニカムインサートが装着されています。その下部セクションは、クロームメッキが施された 4 本のエキゾーストパイプを取り囲むように、リブによって分割されています。S バッジは、アウターパネルとドアシルトリムに装着されています。デイトナグレー、クワンタムグレー、ターボブルーのボディカラーは、S モデル（及び S ラインエクステリア）専用です。

S モデルのインテリアは、ヘッドライニングからカーペットまで、ブラックを基調としています。S エンボス加工が施され、ランバス（ひし形）パターンのヘッドレスト一体型 S スポーツシートが標準設定されます。さらに、レザー/アルカンターラの組み合わせ、またはファインナッパレザーも用意されています。ペダルキャップとフットレストはステンレススチール製です。インレイは、カーボンアトラスが設定されています。

オーディバーチャルコックピットプラスは、ウェルカム画面を含め、すべてのディスプレイに専用グラフィックが採用されます。ドライバーは、スポーツモードまたはタコメーターが中心となる S モードに切り替えることができます。ティプロニックをマニュアルモードで操作している場合、このディスプレイには、ドライバーにシフトアップを促すインジケーターも表示されます。サーキット走行時には、エンジンオイルの温度、ターボチャージャーのブースト圧、ラップタイムが表示されます。

パワートレイン

Audi S4 Sedan と Audi S4 Avant のターボチャージャー付き直噴 3.0 TFSI ガソリンエンジンの最高出力は 260kW (354hp) で、最大トルクは 500Nm/1,370~4,500rpm です。この V6 エンジンを搭載した Audi S4 Sedan の 0~100km/h 加速は 4.7 秒で、最高速度は 250km/h（リミッター作動）です。Audi S4 Avant の 0~100km/h 加速は 4.9 秒です*。トランスミッションは、快適かつ非常に効率的な変速を可能にする 8 速ティプロニックが組み合わせられます。*欧州仕様測定値

quattro フルタイム 4 輪駆動：セルフロックング センターディファレンシャル

quattro フルタイム 4 輪駆動システムは、S モデルにスポーティなダイナミズム、優れた安定性、高いグリップ性能をもたらします。スポーティな走行時は、ホイールセレクトィブトルクコントロールがハンドリングを完璧にサポートします。quattro ドライブを補完する機能として、オプションのリヤスポーツデファレンシャルも用意されています。これは、スポーティなコーナリング



中に、必要に応じて左右のリヤホイール間で駆動トルクを適正に配分します。

スポーツサスペンション：ミリ秒単位の制御

サスペンションは、S モデルのダイナミクスに大きく貢献しています。ダンパーコントロール付きのSモデル専用スポーツサスペンションが標準装備されます。このサスペンションは、オプションのリヤスポーツデファレンシャルも管理するエレクトロニックシャシープラットフォーム（ECP）を介して制御されます。両モジュールには、アウディドライブセレクト ダイナミックハンドリングシステムも組み込まれています。ドライバーは、コンフォート、オート、ダイナミック、エフィシエンシー、インディビジュアルの各プロフィールを切り替えることによって、システムの機能を調整することができます。

S4 および S4 Avant モデルには、ダイナミックステアリングがオプションで装備されます。スーパーポジションギヤを採用したこのシステムでは、クルマの速度、及びアウディドライブセレクトで選択された走行モードに応じて、最大 100%の範囲でステアリングのギヤ比が可変制御されます。必要に応じて、ステアリング入力に瞬時に自動介入することにより、応答性と安定性がさらに高まります。

S モデルには、19 インチホイールと 255/35 シリーズのタイヤが標準装備されています。フロントブレーキには、375mm の大径ベンチレーテッドディスクが装着され、力強い制動力を発揮します。キャリパーは、S ロゴが刻印された 6 ピストンの固定式で、ブラックにペイントされています（オプションでレッドも選択可能）。エレクトロニックスタビリゼーションコントロールは、部分的または完全に無効にすることができます。



Audi A4 allroad quattro

アウディは、過去 10 年間にわたって、Audi A4 Avant に「allroad」と呼ばれるバリエーションを設定してきました。その最新バージョンは、オンロード及びオフロード走行が可能なオールラウンダーとしてラインナップの頂点に位置するモデルとなっています。A4 allroad quattro は、標準装備される quattro 4 輪駆動と高められた最低地上高により、優れた乗り心地と高いオフロード走破性を兼ね備えています。

Audi A4 allroad は、数多くの専用ディテールによって、A4 Avant と差別化を図っています。前後バンパー、ワイド化されたホイールアーチトリム、サイドシルのカラーは、ストラクチャードグレーが標準となります。このモデルには、オプションとして、マンハッタングレーのボディカラー（シル部分にはシルバーインレイ付き）が用意されています。アンダーボディプロテクションはシルバーに塗装され、ディフューザーインサートはマットブラックとなっています。テールゲートには、“allroad”のロゴが装着され、大型ルーフレールによって、堅牢なオフロードスタイルが強化されています。

Audi A4 allroad quattro 45 TFSI には、最高出力 180kW (245hp) を発生する 2.0 TFSI と 7 速 S トロニックとウルトラテクノロジー付きの quattro ドライブが搭載されます。

Audi A4 allroad quattro のサスペンションには、いくつかの特別な特徴を備えています。同時に、車高が Audi A4 Avant よりもわずかに増加し、大径ホイールを装着することにより、最低地上高が 35mm 引き上げられています。トレッドは、フロントが 1,580mm、リヤが 1,565mm と先代と変更ありません。

Audi A4 allroad quattro では、アウディドライブセレクトの走行モードの範囲が拡大されています。ドライバーは、コンフォート、オート、ダイナミック、エフィシエンシー、インディビジュアル、オフロードのプロフィールから選択可能になっています。オフロードモードは、トラクションコントロール、スタビリゼーションコントロール、ABS、ヒルディセントコントロールの各機能を組み合わせています。MMI オペレーティングシステムのボタンを押すだけで、すべてのシステムをオフロード走行用に変化させることができます。Audi A4 allroad quattro には、18 インチホイールが標準装備されます。アウディ及び Audi Sport は、オプションとして最大 19 インチのホイールを用意しています。フロントブレーキには、最大 338mm 径のベンチレーテッドディスクが装着されます。

A4 Avant と同様、ラゲージコンパートメント容量は 495ℓ です。この容量は、リヤシートを折りたたみ、荷物をルーフまで積載すると、1,495ℓ に拡大することができます。電動式ラゲージコンパートメントカバーと電動式テールゲートは標準装備されます。オプションで、折りたたみ式マット、レールシステム付き荷物固定キットを選択することができます。

A4 allroad quattro のその他の装備、インテリアのカラーと素材は、Audi A4 Avant と同じです。